

■事業報告

第7回博物館まつり

平成27年10月4日(日)

第7回博物館まつりは、2年ぶりに10月の開催となり、2400人以上のお客様で終日にぎわいました。県外からも多数お越しいただいたようです。

「化石レプリカづくり」や「まが玉づくり」、「土版づくり」、「缶バッジづくり」などさまざまな体験を楽しんでいただきました。

昨年度から企画された「たんけん！植物園・岩石園」も賑わい、参加した多くの方に好評でした。



たんけん！植物園のようす

岩手県立博物館自慢の民家で行われた「昔あそび」コーナーは博物館友の会のボランティアの協力で毎年開かれています。会場の南部曲屋で「割り箸鉄砲づくり」や「イタドリ笛」、「折り紙」、「ぬり絵」などに親しみました。

芝生広場では、全国高総文祭の伝承芸能部門で第2位に輝き、昨年パリ公演も行った岩泉高校郷土芸能同好会のみなさんによる公演が2回にわたり行われました。演目は五穀豊穰、家内安全、豊漁そして震災復興を祈願する「中野七頭舞(なかのななづまい)」です。芝生広場を囲む博物館前のレンガ階段を大勢の人が埋め、気魄溢れる演舞に見入っていました。

早速リズムをとって、高校生の演舞を真似る子どもも見られました。

他にも石臼ひきや変身のコーナー、クイズラリーなどを用意しました。

爆弾低気圧や台風など天候が心配されましたが、好天に恵まれ、地元大学生を含め54名のボランティアの協力で無事に終えることができました。皆様ありがとうございます。

今後もより一層よい事業にして参ります。来年も是非お越し下さい。



勇壮な中野七頭舞

(学芸第二課 専門学芸調査員 笠原雅史)

■事業報告

第70回自然観察会 北秋田市森吉山ノロ川流域にて

名瀑・「桃洞の滝」を訪ねる 平成27年9月27日(日)

□開館以来、毎年2度開催してきた自然観察会も、70回を数えました。節目の回ということもあり、観察地を秋田県北秋田市森吉山と県外に設定しました。

今回トレッキングを行った北秋田市森吉山ノロ川流域は、本州では幻のキツツキといわれるクマガラの姿を求めて、筆者が数十年、フィールドにしている秘境・人気スポットです。それだけにバス代が高額にもかかわらず、受付を開始して、4日後には定員に達しました。

時期が9月最終の日曜日と紅葉にはまだ早いながら、プロガイド・福士功治君の先導で、参加者30名がうっそうとしたブナの森を通過していきます。もちろん、通過コースの周辺にはクマガラの旧営巣地もあり、奇妙な鳴き声のアオバト

や綺麗なアカショウビンなども生息しています。ノロ川沿いにイワナの魚影とブナハリタケやナメコ等の天然キノコを確認しながら、片道4kmの行程を約1.5時間、往復3時間ほど歩きました。

残念だったのは、当日100%晴れの予報にもかかわらず、雨が降り出し、さらには雷鳴が林内に轟き、退散すべきか？判断に迷ったことです。

到着地の桃洞の滝は、大小約24の滝が点在する森吉山流域でも、名瀑と呼ばれ、外見が桃に似ていることからそのように命名されています。一同、感嘆の声をあげながら、めいめいに記念撮影後、集合写真を撮りました。

朝6:45に博物館第二駐車場を出発後、帰館は18:45という厳しい日程ながら、



皆、無事にそれでいて、元気になっていました。車内から見た中秋の名月のおかげかもしれません。アンケートもほぼ100%満足に近い数値をいただき、第70回の自然観察会を終了しました。

旅行業法改定に伴うバス料金の値上げ等、遠距離での観察会の難しさという課題を残しましたが、今後ともますます創意工夫した観察会を運営していきます。

(学芸部長 藤井忠志)